

白 い ま ど

NOVEMBER

11

特集

がんに克つ! ②

乳がん P-1



早期
発見

早期
診断

早期
治療

• インフォメーション P-4

• 診療科・センター紹介
腫瘍放射線科 P-5

• 診療を支えるスペシャリスト
マンモグラフィ
認定技師 P-6

病院理念

私たちは利用してくださる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ



社会福祉法人聖隷福祉事業団

総合
病院 聖隷浜松病院

がんに克つ!

2

乳がん

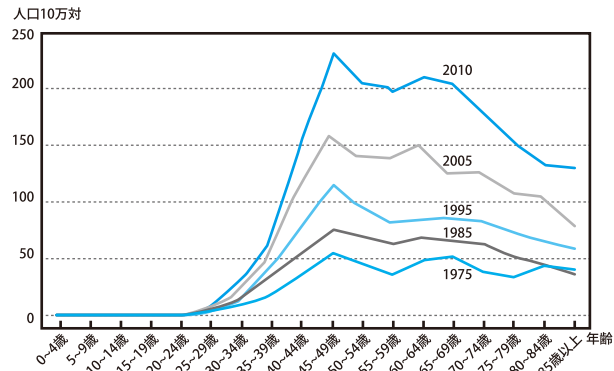
日本人の2人に1人が、一生のうち一度はなるといわれている『がん』。

シリーズ「がんに克つ!」では、日本人がかかりやすいがんを中心に、その特徴・最新治療・予防法などを紹介します。

どれくらいの人乳がんになるの?

日本では乳がん罹る人も亡くなる人も増え続け、生涯で女性の12人に1人が罹るとも言われています。40代後半～50代前半がピークで妻、母、社会人として最も活躍する世代に多く、社会問題と言えます。

▶年齢階級別乳がん罹患率の推移



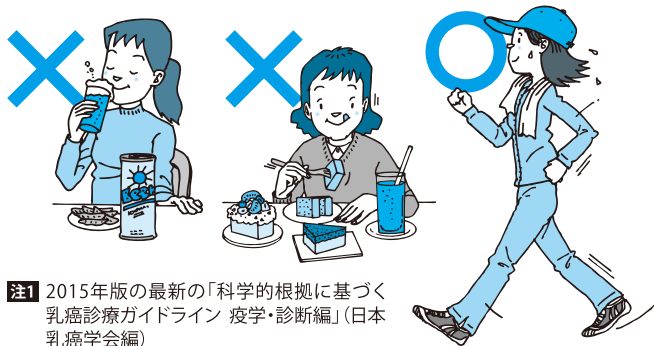
資料: 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター

どんな治療があるの?

乳がんの診断・治療については、「乳癌診療ガイドライン」^{注1}に基づき最新医療を提供しています。乳がんのタイプにより最適な治療を選択し、手術・放射線・お薬治療を併せた総合力で根治を目指します。お薬治療を先に行う選択肢もあり、利点としては、薬の効果が確認でき、お薬でがんが小さくなれば、乳房を全部切除せずにより美しい乳房温存手術が可能です。なお、全部切除した場合でも希望により乳房再建ができます。早期診断・治療で95%以上が根治可能です。

生活習慣の注意点は?

「乳癌診療ガイドライン」^{注1}によると、乳がん予防のために生活習慣を見直すならば、「個人レベルで実践に値する要因は、アルコール、肥満、身体活動であり、アルコール摂取を控え、閉経後の肥満を避けるために体重を管理し、身体活動量を増やすことが重要」とのことです。しかし、確実な予防法はありません。



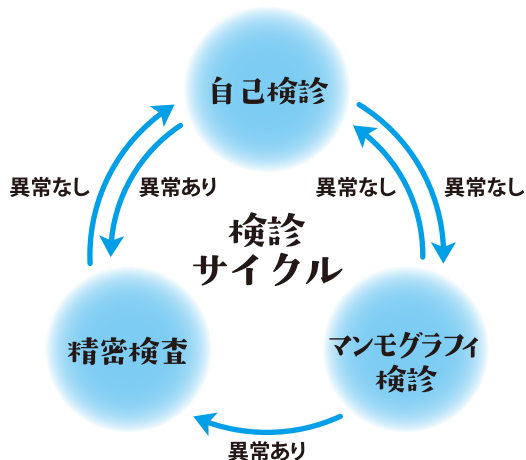
注1 2015年版の最新の「科学的根拠に基づく乳癌診療ガイドライン 疫学・診断編」(日本乳癌学会編)

検診を受けよう!

まずは自己検診! 症状^{※2}があれば、すぐかかりつけ医か専門医を受診しましょう。症状のない方は、40歳になったら2年に1回マンモグラフィ検診を受け、異常がなければひと安心。しかし、自己検診の継続が大切です。症状があればすぐ受診、症状がなければマンモグラフィ検診(検診サイクル)の継続です。検診で要精検の時は必ず精密検査を受けましょう。乳がんだけでなく他のがん検診・特定健診も受けましょう。

最後にもう一度。乳がんの確実な予防法はありません。早期発見・診断・治療で早期社会復帰を果たしましょう。乳房自己検診とマンモグラフィ検診を今すぐに!

^{えきか}
※2 乳房や腋窩のしこり、乳頭分泌物、乳頭のひきつれ・陥没など



文責:乳腺科 部長 吉田 雅行

がんに克つ!③は「大腸がん」です。(2016年1月号に掲載予定)

インフォメーション

JCI再認証を取得しました!

当院はこの度、2012年11月に取得したJCI(国際的医療機能評価機関)の更新審査を受け、再認証を取得しました。

詳しくは、[聖隷浜松病院 JCI](#) で [検索](#)

イベント
情報

参加費無料・申込不要 どなたでもご参加いただけます!

マタニティフェスタ

- 日時 2015年11月21日(土) 13:30~16:00
- 場所 イオンモール浜松志都呂店2階 イオンホール
- 内容 4Dエコー、妊婦疑似体験、
パネルによる当院産科紹介 など
- 問合せ先 学術広報室 TEL053-474-2753 (月~金9:00~17:00)

助産師に
相談できます

第5回 脳卒中市民公開セミナー

- 日時 2015年12月19日(土)
13:30~16:00(開場13:00)
- 場所 聖隷浜松病院 集団指導室
- 内容 医師・看護師・栄養士の講演、体験ブース(試食・
血圧測定・リハビリ等)
- 主催 聖隷浜松病院 脳卒中センター
- 問合せ先 地域医療連絡室(JUNC)
TEL053-474-8801 (月~金9:00~17:00)

新任
医師紹介



眼形成眼窩外科

どい あきひろ

土居 亮博

東京医科歯科大学(2006年卒)

腫瘍放射線科



丁寧かつ最善の放射線治療を 全ての患者さんに

放射線治療はがん治療の三本柱の一つとして、目覚ましい進化を遂げています。様々な工夫により、より効果的でより副作用の少ない治療が可能です。

当科では院内外の様々な診療科から相談をいただき、患者さん個々の状態に応じた最善の放射線治療を提供しています。そのために、患者さんと共に病気の具合を確認して、お勧めする放射線治療について理解していただく事を、とても大切にしています。

実際の治療では、患者さんが安全で安心な放射線治療を受ける事ができるよう、全スタッフが気を配っています。高度な機器と最新の手法を駆使して正確かつ適切な放射線治療を行っています。「放射線治療を勧められたけれど、よくわからない・・・」など不安なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

文責：腫瘍放射線科部長 野末 政志(写真 左端)

診療を支える
スペシャリスト

マンモグラフィ 認定技師

女性技師が 担当します

マンモグラフィとは乳房を2枚の板に挟んで圧迫したままX線撮影を行う乳房専用の検査です。現在、乳がん検診の画像診断で

は、超音波検査と併せて基本の検査とされています。マンモグラフィでは、触って判らないような早期の乳がんが白い点で写ったり、白い影として写りますが、悪性のものだけでなく良性のものも見つけることができます。これを画像で写せるのがマンモグラフィの大きな特徴です。

当院は「マンモグラフィ検診施設画像認定」の認定施設であり、検診マンモグラフィ撮影認定を取得した女性技師が6名在籍

しています。更衣から検査終了までは専用エリアで行い、必ず女性技師が担当します。

より専門性を高めると共に診断に適した画像を提供し、医療に貢献していきます。

文責：放射線部 篠田 奈美(写真 前列右)





聖隷浜松病院からのお知らせ

初診の方へ 紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診時選定療養費として3,240円を別途ご負担いただいています。

当院は、地域医療支援病院として急性期医療を担い、「かかりつけ医(診療所等)」と役割を分担する病診連携を推進しています。皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

また予約時には、症状や診療科の確認等が必要となることがあります。原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。

やむを得ず患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ 地域医療連絡室(JUNC) ☎053-474-8801

(月～金曜 9:00～17:00・土曜 9:00～12:00/祝祭日を除く)

再診の方へ 予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがありますのでお控えください。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡をお願いいたします。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ 外来受付センター ☎053-474-0100 (月～金曜13:00～16:45)

面会の方へ

面会時間…(月～土曜)14:00～20:00、(日曜・祝日)10:00～20:00

- 小児科病棟の面会者はC棟1階で手続きをお願いいたします。
- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会をご遠慮いただいています。
発熱/咳・痰/原因不明の発疹/嘔吐・下痢



社会福祉法人聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

ジョイント・コミッション・インターナショナル認証
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222

発行責任者 病院長 鳥居 裕一